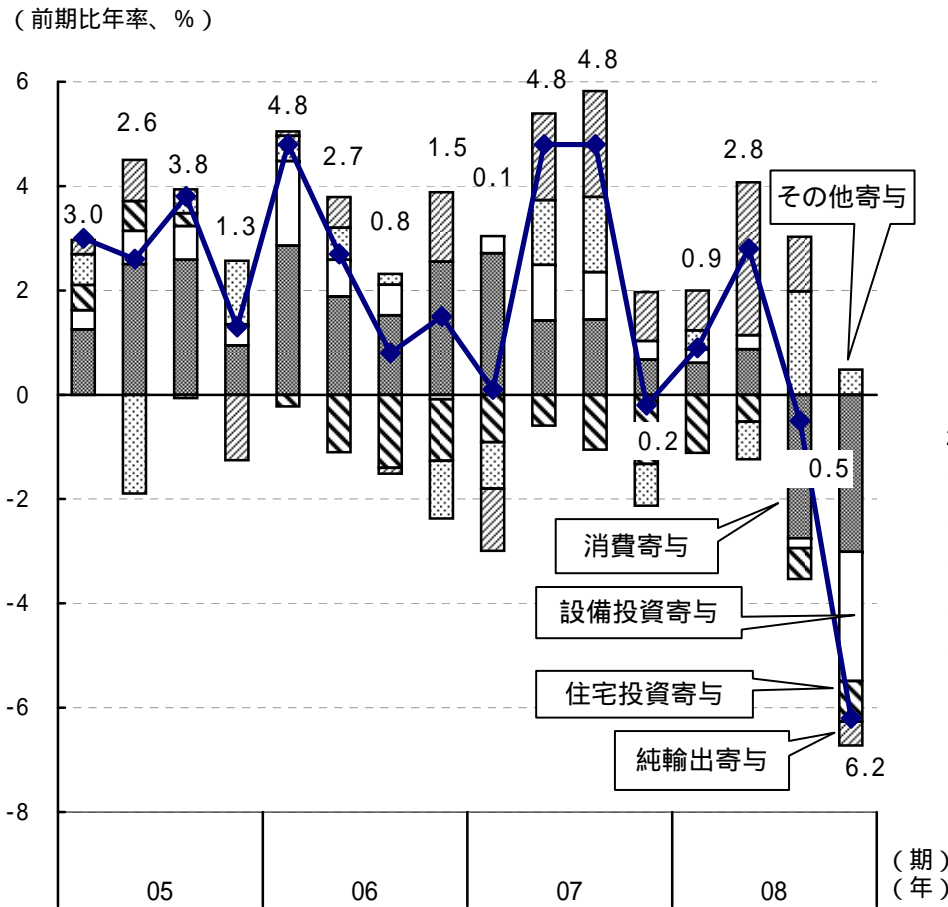


1. アメリカ

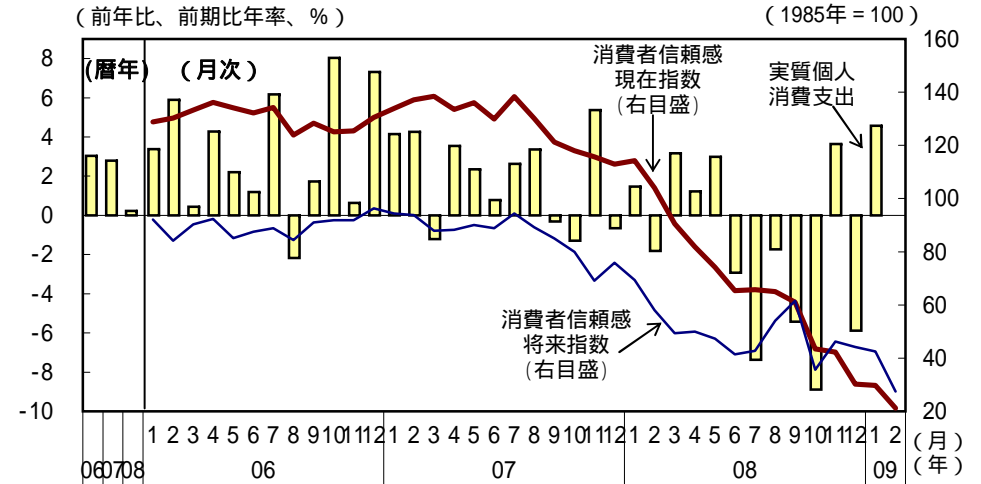
景気は後退しており、金融危機と实体经济悪化の悪循環により、急速に深刻化している。先行きについては、悪循環がさらに強まり、景気後退が一層厳しく、長期化するリスクが高まっている。

GDP：2008年10-12月期は前期比年率 6.2%成長



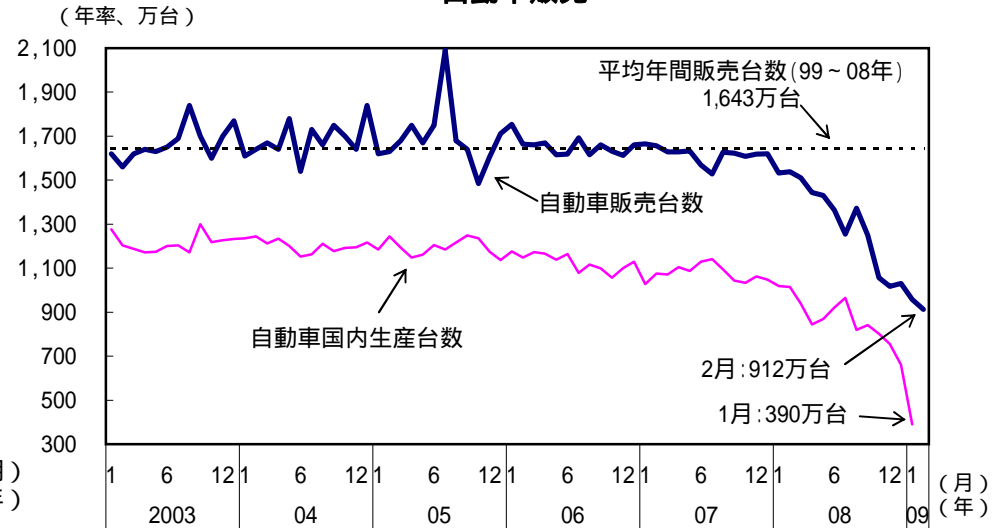
(備考) アメリカ商務省より作成。

消費：消費は大幅に減少している。



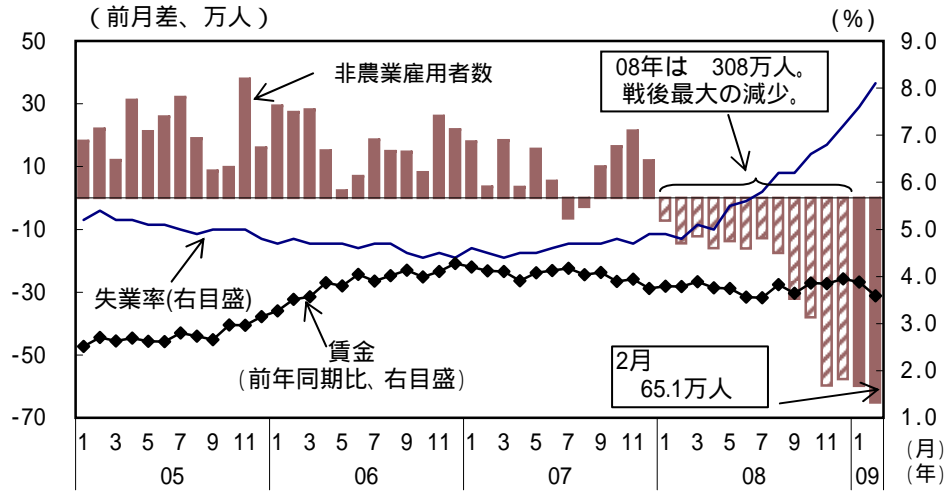
(備考) アメリカ商務省より作成。

自動車販売



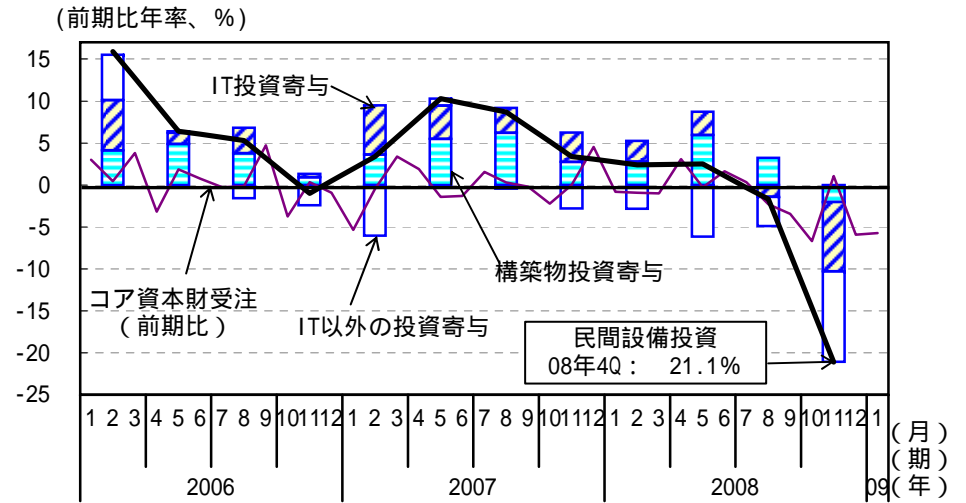
(備考) オートデータ、FRBより作成。

雇用：雇用者数は大幅に減少しており、失業率は急速に上昇している。



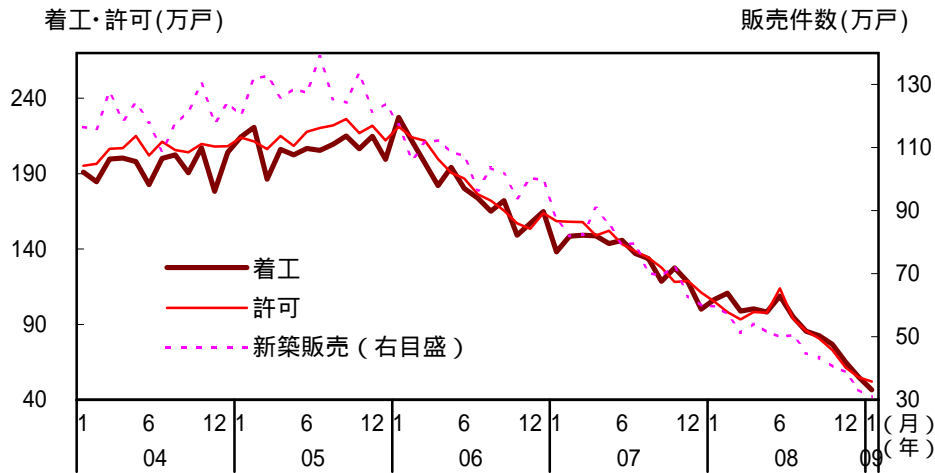
(備考) アメリカ労働省より作成。

設備投資：設備投資は大幅に減少している。



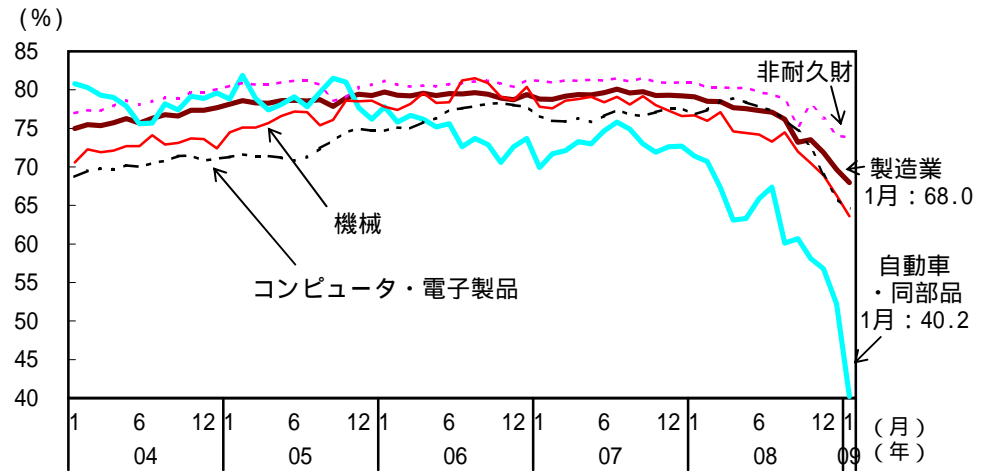
(備考) アメリカ商務省より作成。

住宅：住宅建設は大幅に減少している。



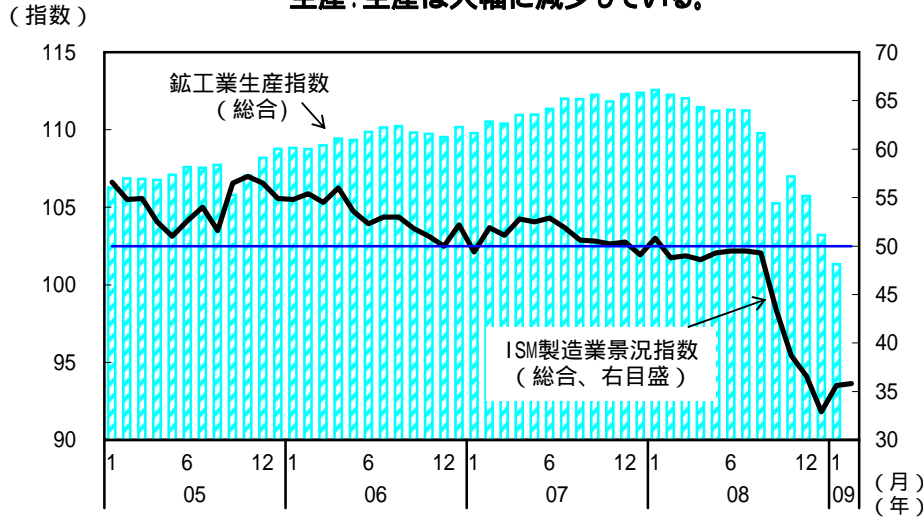
(備考) アメリカ商務省より作成。

設備稼働率



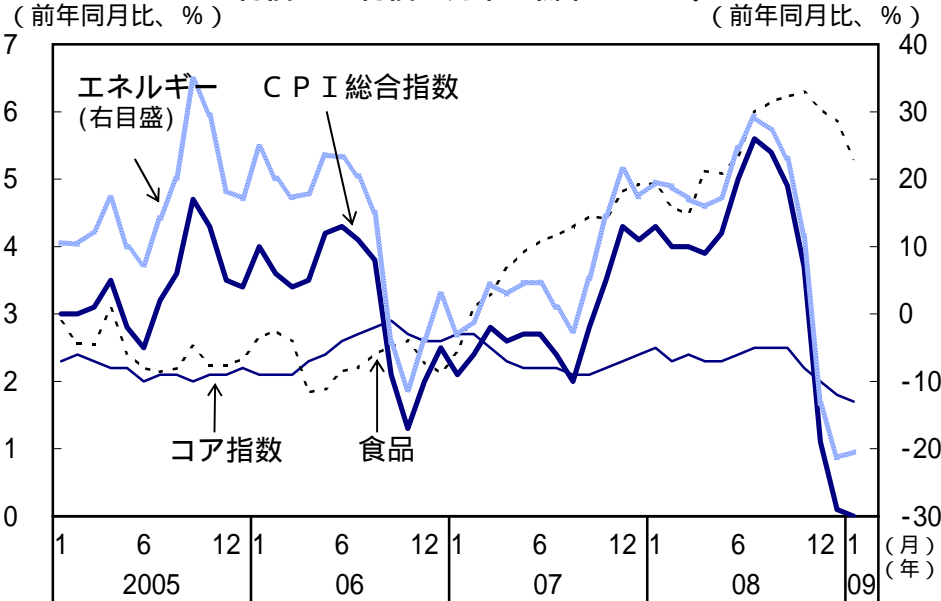
(備考) FRBより作成。

生産:生産は大幅に減少している。



(備考)FRB、全米供給管理協会(ISM)より作成。

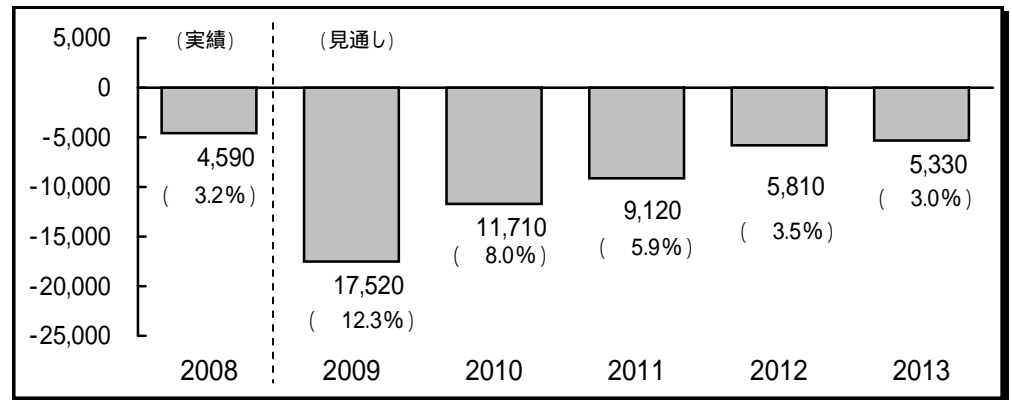
物価:コア物価上昇率は低下している。



(備考)1. アメリカ労働省より作成。
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食料を除いた指数である。

予算教書(2月26日発表)
(2010会計年度(2009年10月~2010年9月))

連邦財政収支見通し (億ドル、年度、()はGDP比)



実質GDP成長率の前提

(前年比%、暦年)

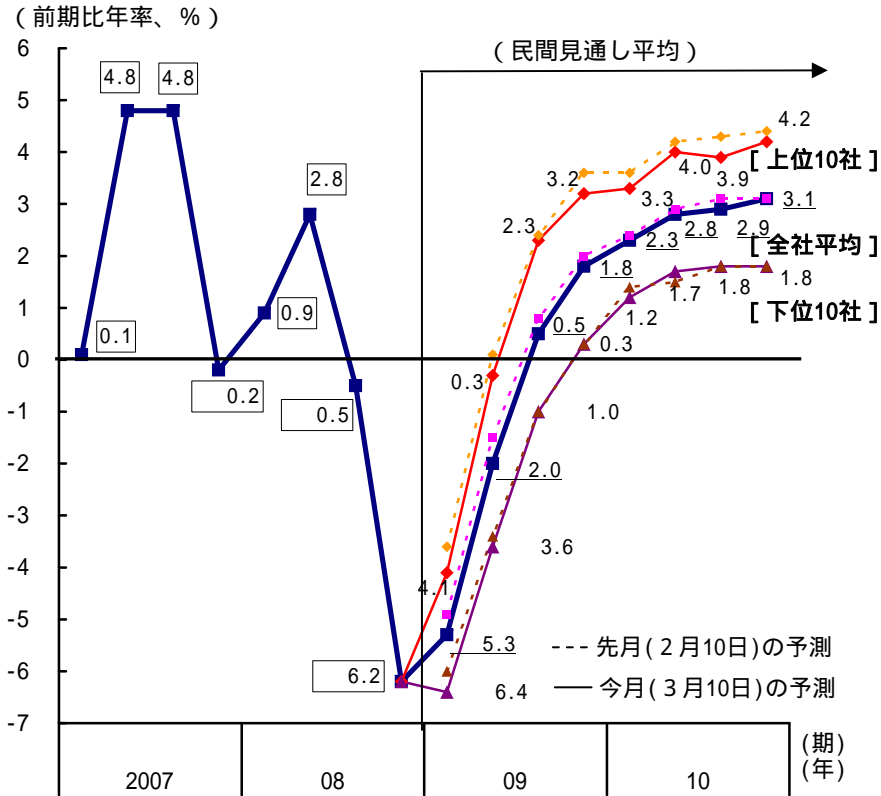
	2009	2010	2011	2012	2013
実質GDP成長率	1.2	3.2	4.0	4.6	4.2

2010年度の予算教書のポイント

- ・ **2010年度予算の歳出規模は、3兆5,520億ドル**
(前年度実績見込み比 9.8%)
過去最大となる2009年度(3兆9,380億ドル)に次ぐ規模
- ・ **2009年度の財政収支は、1兆7,520億ドル(GDP比 12.3%)**
財政刺激策や金融安定化策等により歳出が大幅に増加することに加え、所得税収及び法人税収の減少により、財政赤字が大幅に拡大
過去最大であった2008年度(4,590億ドル)の約4倍弱
GDP比では、統計がある1934年度以来、戦中(1942~45年度)を除き、過去最大
- ・ **2010年度の財政収支は、1兆1,710億ドル(GDP比 8.0%)**
2年連続で1兆ドルを突破する見込み
- ・ **オバマ大統領は、任期1期目の終わり(2013年1月)までに財政赤字を半減させるとしている**
2013年度の財政赤字は5,330億ドルと09年度財政赤字(1兆7,520億ドル)の3割程度まで減少する見込み

アメリカの民間エコノミストの平均的見方 (3月10日時点)
 - 2008年7～9月期から1年間マイナス成長になるとの見方が中心 -

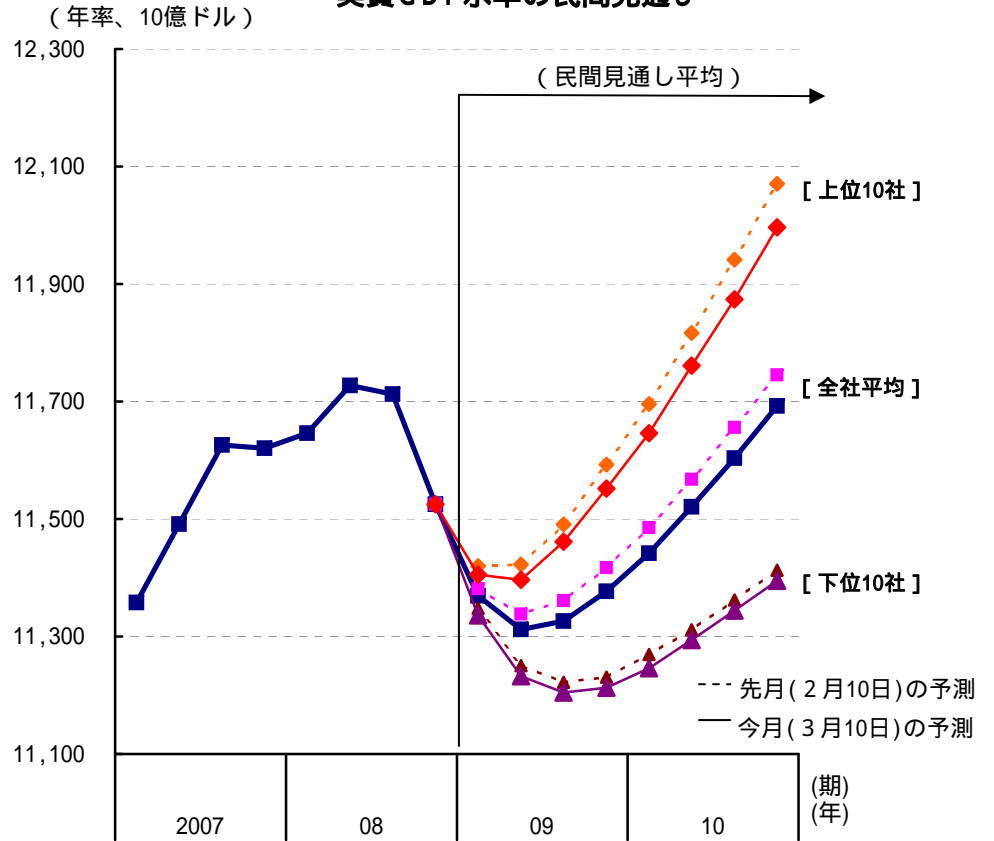
実質GDP成長率の民間見通し



		2009年	2010年
実質GDP 成長率見通し (民間見通し)	上位10社	2.0	2.8
	平均	2.6	1.9
	下位10社	3.2	1.0

(備考) アメリカ商務省、ブルーチップ・インディケータ (3月10日号) より作成。

実質GDP水準の民間見通し



米連銀地区経済報告(ページ・ブック)の景気見通し
 (2009年3月4日)

「多くの地区の情報によれば、経済情勢について、短期的には改善の見込みは乏しく、2009年遅くか2010年初めより前に、目立った回復は期待できない」